

記事内容

- ☆特定(産業別)最低賃金
- ☆最低賃金周知行動
- ☆地協ブロック連絡会、市長・町長政策懇談会
- ☆第50回衆議院議員選挙結果
- ☆親子ものづくり教室/トライアルセミナー
- ☆9都県市要請行動/埼玉公務労協「第11回総会」
- ☆11月の行動予定/中央労働金庫お知らせ
- ☆あけぼのビル

令和6年度 埼玉県特定最低賃金の改正決定について

埼玉地方最低賃金審議会は、本年8月5日に埼玉労働局長から「特定最低賃金の改正決定について」の諮問を受け、5業種の特定最低賃金専門部会を設置し、調査審議をおこなってきました。当該産業の活性化や公正競争の確保を観点に特定最低賃金の引き上げ額について、公労使で慎重かつ真摯な議論をおこないました。結果、10月2日の埼玉地方最低賃金審議会において、埼玉労働局長に対し、以下に示す改正額を答申しました。今後諸手続きを進め、本年12月1日より効力を発生することとなります。

産業別	時間額(円)	引上額	引上率	発効日
非鉄金属製造業	1,098円	50円	4.77%	2024年 12月1日～
電気機械器具製造業、 情報通信機械器具製造業、 電子部品・デバイス製造業	1,105円	50円	4.74%	
輸送用機械器具製造業	1,102円	47円	4.45%	
光学機械器具・レンズ、 時計・同部品製造業	1,114円	50円	4.70%	
自動車小売業	1,089円	29円	2.74%	

(参考:既報) 埼玉県地方最低賃金

時間額(円)	引上額	引上率	発効日
1,078円	50円	4.86%	2024年10月1日～

今年の特定(産別)最低賃金は、5業種のうち4業種については、過去最大の引き上げ額となりましたが、2業種については、地域別最賃との金額差は縮まることになりました。また、企業内最低賃金との金額差も縮まっています。この状況が続いてしまうと地域別最低賃金に特定(産別)最低賃金が下回ることが予想され、当該産業の活性化や魅力低下、産業内の公正競争を確保ができず、産業の衰退につながってしまいます。構成組織・加盟組合の皆様には、これから始まる2025春季生活闘争の中で企業内最低賃金の水準の引き上げに取り組んでいただきますようお願いいたします。

簡易計算サイト「チェック!あなたの賃金は、大丈夫?」

～最低賃金をクリアしてる?～

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/action/saiteichingin/>

大宮駅構内(豆の木周辺)にて 埼玉県の公労使で埼玉県最低賃金の周知活動をおこないました!

埼玉県最低賃金周知行動

9月30日(月)大宮駅構内(豆の木周辺)にて、令和6年地域別最低賃金(埼玉県)の周知活動をおこないました。

当日は、地域別最低賃金額(埼玉県)が記載されたのぼり旗を立て、連合埼玉 平尾会長をはじめ、埼玉労働局、埼玉県経営者協会、埼玉県商工会連合会、ハローワーク大宮所、さいたま監査署の代表者で「埼玉県最低賃金1,078円になります」「10月1日から埼玉県の最低賃金が変わります」と声掛けをおこないながら、埼玉県最低賃金額が記載されているチラシ入りティッシュを配布し、埼玉で働く多くの駅利用者に周知を

おこないました。

この地域別最低賃金は、産業や職種、年齢、雇用形態、国籍などに関係なく、埼玉県内で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。

10月1日より埼玉県最低賃金が時間額で50円引き上げとなり、1,078円となっています。構成組織、加盟組合でも最低賃金や企業内最低賃金(産業の労使が、地域別最低賃金を上回る最低賃金が必要であると認められた場合に設定する最低賃金)の確認をよろしくお願います。



最低賃金周知活動



公労使の代表者



のぼり旗

【ご参考】 令和6年度 全国の地方最低賃金状況

- ・ 47 都道府県で、50 円～84 円の引上げ (引上げ額が 84 円は 1 県、59 円は 2 県、58 円は 1 県、57 円は 1 県、56 円は 3 県、55 円は 7 県、54 円は 3 県、53 円は 1 県、52 円は 2 県、51 円は 6 県、50 円は 20 都道府県)
- ・ 改定額の全国加重平均額は 1,055 円 (昨年度 1,004 円)
- ・ 全国加重平均額 51 円の引上げは、昭和 53 年度に目安制度が始まって以降で最高額
- ・ 最高額 (1,163 円) に対する最低額 (951 円) の比率は 81.8% (昨年度は 80.2%)。なお、この比率は 10 年連続の改善

「男女平等参画,ジェンダー平等の推進,均等待遇,仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に向けた標語優秀賞

◇優秀賞 見直そう 仕事と私事の 時間割

(埼玉県電力総連 東電労組埼玉地区本部熊谷支部・成田 龍世)

※2024年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」、標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

「地協ブロック連絡会」「市長・町長政策懇談会」を開催

～政策・制度要請内容の実現に向けて～

10月8日(火)の東部ブロックを皮切りに、17日(木)に南部ブロック、22日(火)に北部ブロックにおいて、「地協ブロック連絡会」ならびに「市長・町長政策懇談会」を開催しました。

西部ブロックについては、10月15日(火)が第50回衆議院議員選挙の公示日となったことから、「市長・町長政策懇談会」のみ開催し、「地協ブロック連絡会」は10月21日(月)にWeb会議システムにて開催しました。

連合埼玉から平尾会長をはじめ、各地協ブロック担当の副会長・執行委員が参加し、各地域協議会からは地協四役の方の参加がありました。

冒頭、平尾会長から、政策制度の取り組み、能登半



東部地協ブロック連絡会にて
挨拶する竹内副会長



南部地協ブロック連絡会の様子

島沖地震の状況、衆議院選挙についての挨拶がありました。

そして協議事項では、

- ①2024年度活動経過報告
- ②2025年度運動方針(案)について
- ③2024年度政策制度要求(地協統一)について
- ④地協活動について
- ⑤地域事務所の取り組みについて

に関して、質疑や意見交換が活発におこなわれ、その後、各地域協議会より地協の活動報告や政策要請の取り組みについて報告がありました。

今後も引き続き、地域協議会と連携を深めながら進めていきたいと思えます。



北部地協ブロック連絡会にて
挨拶する小林副会長



西部地協ブロック連絡会の様子

「市長・町長政策懇談会」では、地協エリアに該当する市・町の推薦・友好首長(総勢22名)および推薦議員(総勢38名)が参加のもと、活発な意見交換がおこなわれました。

連合埼玉 平尾会長の挨拶、出席者皆様の自己紹介の後に、<テーマ1>として8分野32項目にわたる「2024年度連合埼玉 政策・制度要請(地協統一)」について説明をおこない、要請内容の実現に向けて協力を求めました。

その後、<テーマ2>として「地方行政に関する課題について」当日出席いただいた市・町の推薦・友好首長(代理を含む)から各自治体における課題などについて報告がされました。



東部ブロック政策懇談会にて
挨拶する鈴木副会長



西部ブロック政策懇談会にて
挨拶する今井副会長



南部ブロック政策懇談会にて
挨拶する前原副会長



北部ブロック政策懇談会の様子

具体的には、「激増する自然災害への対応について」「高齢化社会と公共交通機関の維持対策について」「老朽化する公共施設の維持管理、有効活用について」「人口減少対策について」「子育て支援について」など、多岐にわたる取り組みと課題について報告がありました。

また、市・町の推薦・友好首長(代理を含む)から、連合埼玉の政策制度に対しての質問や現自治体としての取り組みについての話がありました。

連合埼玉は、今後も推薦・友好首長や推薦議員などと連携をはかり、働く者・生活者の立場に立った政策の実現に向けて取り組みを進めます。是非来年度以降も、皆様からの意見をよろしくお願ひいたします。

第50回衆議院議員選挙結果

連合埼玉推薦候補者15名の結果は、選挙区で8、比例復活5の合計13議席となり、前回衆議院選挙より1議席増の結果となりました。連合は、本選挙を「与党を過半数割れに追い込み、今の政治をリセットする選挙」と位置づけ取り組んできました。全国での自民党の獲得議席数は、過半数を割り込む191議席で、前回より70議席を減らし、連立を組む公明党とあわせて215議席と、過半数割れとなる結果となりました。埼玉県内においても16の選挙区のうち、自民党は議席を大幅に減らす結果となりました。また、埼玉県内の投票率は2021年の53.97%をさらに下回り51.14%となりました。今回の選挙戦において、連合推薦候補者の当選に向け、昼夜を問わず取り組んでいただいた構成組織、加盟組合、地域協議会、そして組合員・ご家族の皆様にご心からの敬意を表します。

当選された連合埼玉推薦候補者

比例当選  たけまさ 公一	比例当選  竹内 千春	比例当選  岸田 光広	当選  えだの 幸男	当選  大島 あつし	当選  こみやま 泰子	比例当選  いちき 伴子
当選  すぎむら 慎治	当選  坂本 ゆうのすけ	当選  森田 としかず	当選  橋本 みきひこ	当選  鈴木 よしひろ	当選  三角 そうた	

各選挙区の結果

埼玉第1区 たけまさ 公一 82,134票 比例当選	埼玉第2区 まつうら 玄嗣 34,327票 落選	埼玉第3区 竹内 千春 66,103票 比例当選	埼玉第4区 岸田 光広 52,728票 比例当選	埼玉第5区 えだの 幸男 107,778票 当選
埼玉第6区 大島 あつし 104,836票 当選	埼玉第7区 こみやま 泰子 73,293票 当選	埼玉第8区 いちき 伴子 77,580票 比例当選	埼玉第9区 すぎむら 慎治 83,107票 当選	埼玉第10区 坂本 ゆうのすけ 97,591票 当選
埼玉第12区 森田 としかず 103,324票 当選	埼玉第13区 橋本 みきひこ 61,436票 当選	埼玉第14区 鈴木 よしひろ 70,608票 当選	埼玉第15区 高木 れんたろう 60,356票 落選	埼玉第16区 三角 そうた 64,244票 比例当選

埼玉県全体の当日有権者数:6,135,836人、投票率:51.14%、前回は53.97%

JCM(金属労協)親子ものづくり教室開催

10月27日(日)埼玉県行田市にある、学校法人「ものづくり大学」のご協力をいただき、日本のものづくり産業の将来の発展に向けて、ものづくり産業の意義・魅力を組合員ならびに組合員のお子さま、ご家族と一緒にになって、日本の「ものづくり」の大切さ、楽しさを再認識してもらい取り組みを目的に、ものづくり大学「碧蓮祭」へ「親子ものづくり教室」のブースを出展させていただきました。

当日は、構成組織、一般参加者も含め、250名のご参加をいただき、電池とモーター、木材、段ボールを材料とした、走るスポーツカーやバイクを製作し、ものづくりの楽しさを体験していただきました。

参加者からは、「作るのが楽しかった」、「作るのが難しかった」などの声をいただき、「ものづくり」の大切さ、楽しさを再認識していただきました。

今後も、JCM(金属労協)は日本のものづくり産業の将来の発展に向けて努めてまいります。



金属部門連絡会今井会長あいさつ



参加者のみなさま



会場の様子

組合役員教育プログラム

～トライアルセミナーを開催しました～



連合埼玉
大谷事務局長あいさつ

組合役員教育プログラムは、各労働組合の活動の活性化を目的として、2012年9月に開講し、12年経過しています。そうした中、組合役員の更なるスキルアップをはかるため「トライアルセミナー」を昨年実施し、セミナー内容が好評でした。2024年も同内容で10月12日(土)あけぼのビル501会議室にて、各構成組織より12名の参加にて開催しました。ご参加いただきました皆様に、心より感謝を申し上げます。

まず、セミナーの冒頭、連合埼玉を代表して大谷事務局長より、ご挨拶をいただきました。

その後、(株)アイルインターナショナル 代表取締役 石川 歩氏より、『若者層のエンゲージメント(自発的貢献意欲)を高めるコミュニケーション』をテーマにセミナーを実施しました。

セミナーでは、「指導法・接し方を変えざるを得ない若年層の思考の変化」を、データを基に説明頂きエンゲージメントを高めるコミュニケーションの必要性を学びました。その後は、「従業員エンゲージメント」と「ワークエンゲージメント」を高める方法を、演習を中心に実施し受講者同士楽しみながらコミュニケーション重要性を、身をもって体感していました。

今後も、教育プログラムも含め是非奮ってご参加ください。



石川講師



セミナーの様子

九都県市首脳会議に対して、要請書を提出!

～働く者の立場に立った政策・制度要請内容の実現に向けて～



九都県市首脳会議議長への要請書提出

連合東京・神奈川・千葉・埼玉は、10月18日(金)15時30分から千葉県庁知事室において、「第86回九都県市首脳会議」の座長である熊谷 俊人 千葉県知事に対して、7分野25項目にわたる「九都県市首脳会議に対する要請書」を提出した。

要請書の内容は、「雇用・労働政策」「生活・福祉政策」「防災政策」「防犯・消費者被害対策」「環境・エネルギー政策」「教育・子育て政策」「ジェンダー平等・多様性推進政策」となっており、記載された要請書を手交した。

最後に、熊谷 千葉県知事(座長)からは、「責任をもって九都県市首脳会議の議長として共通認識をわかり、対応していきたい」とのコメントが述べられた。



要請内容を説明する小林副事務局長



要請書

九都県市首脳会議とは!

<構成員>

埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県、横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市の市長

<会議の目的>

九都県市の知事および市長が、共有する膨大な地域活力を活かし、共同して広域的課題に積極的に取り組むことを目的とする。

<会議に期待される役割など>

地方分権の進展や広域的課題の複雑化・多様化とともに、自治体間の連携・協調した取り組みのシステムとして、また自治体間の調整のシステムとして、九都県市首脳会議の役割はますます重要になっている。九都県市は、そのような役割を果たしつつ、今後とも首都圏における広域的な諸課題の解決に向けて、協調した取り組みを進めるとともに、まちづくり等において共同・連携した対応をはかるなど、協調して広域行政を推進。

新体制で2025年度の活動がスタート

埼玉公務公共サービス労働組合協議会「第11回総会」

埼玉公務公共サービス労働組合協議会(略称:埼玉公務労協)は、連合埼玉との連携を強化し、格差のない地域社会の再生と「地域の公共の力」を育むため、公務公共サービス労働者の労働・生活条件の維持改善、諸権利の確立、社会的経済的地位の向上、社会保障制度の一体的改革、および安心・安全で質の高い公共サービスの確立を目指して活動を展開しています。

10月23日(水)18:30より、あけぼのビルにおいて第11回総会を開催し、2024年度経過報告を承認するとともに、2025年度の活動方針、予算、役員を決定しました。

来賓で招かれた連合埼玉の平尾会長は、「日頃公共サービスの現場で働く皆さんへ敬意を表する」と埼玉公務労協メンバーへの感謝を語り、宇田川議長よりバトンを引き継いだ椎名新議長は、「連合埼玉と連携し、政策・制度実現に向けて取り組んでいく」と新体制による決意を語りました。

総会終了後、第1回の幹事会が開催され、2025年度の活動がスタートしました。



宇田川前議長



椎名新議長

役職	氏名	構成組織名
議長	椎名久和克	日教組
副議長	前原 朝子	自治労
副議長	浅井 孝仁	全水道
事務局長	堀越 弘宣	自治労
幹事	阿久津元良	国公総連
幹事	河村 智美	全造幣
幹事	清水 小鉄	全造幣
幹事	佐々木俊二	日教組
幹事	調整中	国税労組
幹事	調整中	森林労連
幹事	久保山寿一	政労連
幹事	坪田 将吾	政労連
オブザーバー幹事	佐藤 勉	J P 労組
オブザーバー幹事	羽田 亮介	日教組
監査	丸山 巧	日教組
監査	関根 洋貴	全水道

現在予定される11月の日程表です

11月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 金	①第12回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②第6回役員推せん委員会(12:20～・ときわ会館)	
2日 土		
3日 日		
4日 月		
5日 火	①政策・制度委員会(11:00～連合埼玉会議室) ②青年委員会「第11回幹事会」(18:00～・連合埼玉会議室)	①政策・制度要請に伴う関係部局との意見交換(13:30～・埼玉労働局会議室) ②埼玉県私鉄「第49回定期大会」(11:00～・東武鉄道春日部支部会館会議室)
6日 水		
7日 木		①埼玉労福協「第3回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②埼玉労福協「教育フォーラム」(13:30～・ときわ会館)
8日 金		①こくみん共済 coop 産別委員会(15:30～・こくみん共済 coop 埼玉推進本部) ②埼玉県生産性本部「埼玉大学特別シンポジウム」(14:40～・埼玉大学)
9日 土		
10日 日		①フード連合埼玉地区協議会「第23回代表者総会」(16:00～・東上パールビルディング)
11日 月		①フードバンク埼玉「第2回理事会」(15:00～・パルシステムばる★てらす)
12日 火		
13日 水		①連合「地方連合会事務局局長会議」(13:30～・連合本部) ②連合関東ブロック「第4回幹事会」(16:15～・連合本部)
14日 木		①埼玉県勤労者福祉センター「2024年度 第3回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②埼玉産業保健総合センター「第2回運営協議会」(13:30～・埼玉県県民健康センター大会議室B) ③2024年度個別労働紛争解決研修(基礎) (9:00～・連合会館)
15日 金	①拡大アドバイザー会議(14:00～・連合埼玉会議室)	①令和6年11月審査運営協議会(15:00～・北関東地域審査事務センター) ②第5回連合関東ブロックオルガナイザー会議(16:00～・連合本部 3階会議室)
16日 土		
17日 日		
18日 月		①第5回西部第四地協幹事会(17:30～・ホテルヘリテイジ飯能)
19日 火	①第24回地方委員会(13:30～・ロイヤルパインズホテル浦和)	
20日 水		①朝霞・東入間地協「第7回地協委員会」(18:30～・本田技研労働組合研究部支部)
21日 木		
22日 金		①2025春季生活闘争方針(案)説明会(13:30～・Web) ②さいたま市長清水はもと「姿勢報告会2024絆」(18:30～・ロイヤルパインズホテル浦和) ③朝霞・東入間地協「第7回地協委員会」(18:30～・本田技研労働組合研究部支部)
23日 土		①ユニオン連合埼玉第23回定期大会(15:00～・あけぼのビル501会議室)
24日 日		①連合関東ブロック「第5回幹事会」(15:30～25日・厚木アーバンホテル) ②連合関東ブロック「代表者懇談会」(16:30～25日・厚木アーバンホテル) ③県央地協 第10回幹事会、研修会(25～26日・ホテル木暮)
25日 月		①県央地協 第10回幹事会、研修会(24～25日・ホテル木暮) ②連合関東ブロック「第5回幹事会」(24～25日・厚木アーバンホテル) ③連合関東ブロック「代表者懇談会」(24～25日・厚木アーバンホテル)
26日 火		①第1回埼玉地方労働審議会(9:30～・ホテルアトランテ武蔵野)
27日 水	①埼玉シニア連合「第8回幹事会・第28回定期総会」(13:00～・あけぼのビル501)	①こくみん共済 coop 「第438回理事会」(未定・未定) ②こくみん共済 coop 「第3回代表委員会」(未定・未定) ③連合「地方連合会代表者会議」(13:30～・未定)
28日 木		①連合「中央委員会」(9:30～・未定) ②交運労協「第32回定期総会」(14:00～・レイボックホール) ③埼玉県生産性本部「県外老舗視察」(28～29日・福井県)
29日 金	①女性委員会「第36回定期総会」(14:00～・あけぼのビル501)	①埼玉県生産性本部「県外老舗視察」(28～29日・福井県)
30日 土		

私らしく
生きるための
お金の
はなし。

マネー情報サイト Rukuo

働くあなたの「いま」と「これから」を応援する「Rukuo」。
「Rukuo」の中には「知る」という言葉が隠されています。
あなたに、家族に、大切な人の未来に役立つ情報を、心を込めてお贈りします。

コラム&レポート

マネーにまつわるさまざまなコラムを掲載中!

カテゴリー
Category

年代別ライフ & マネープラン

知っておきたい
マネーの知識

マネーレポート

トピックス
Topics

2024年1月、
新NISA制度スタート!
改めて知っておきたい
「NISA」のこと

法改正でどう変わった?
男性も気になる?
育児休業中の「お金」のこと

意外と知らない!? 中央ろうきん3つのおトク

仕事もプライベートも毎日がんばるあなたに、
ぜひ知っておいてほしい3つのおトクポイントをお伝えします。

ATM手数料0円でおトク

手数料
キャッシュバック
サービス

CARD

低金利でおトク
ろうきん
カードローン
「マイプラン」

便利でおトク
ろうきんアプリ、
ろうきん
ダイレクト

マネー情報サイトRukuoは
R・Wプロジェクトにより運営しています。

R・Wプロジェクトとは?

「Rokin」と「Woman・Work・Wish・With・Widen」の
頭文字をとったR・Wプロジェクト。働く人がより豊
かな人生を歩めるよう金融面からサポートします。

- Woman ろうきん「女性」職員を中心とした活動を通じて
- Work 「働く」ひとの
- Wish 夢や豊かな生活の実現を「願い」、
- With 一人ひとりに「寄り添い」ながら、
- Widen ろうきんの輪を「拡げ」ていきます。

マネー情報サイト
「Rukuo」は
こちら▶

お問い合わせ・ご相談は、〈中央ろうきん〉埼玉県本部 TEL:048-836-5511 2024年10月1日現在



◆連合関東ブロック連絡会「海外交流視察inベトナム」に参加して!

連合関東ブロック連絡会では、2019年9月に「海外交流視察inモンゴル」をおこなった以降、新型コロナウイルス感染症の影響などにより実施を中止していた「海外交流視察」を、今年度5年ぶりに再開した。

今年度は、9月11日(水)～16日(月)にかけての4泊6日で、ベトナムのホーチミンならびにハノイへ渡航した。連合埼玉からは、関口副会長、小林副事務局長が参加し、私が連合関東ブロック連絡会の事務局として参加した。

ベトナムでは、渡航前の9月7日に上陸した台風11号(国際名:ヤギ)により、甚大な被害をもたらした。台風11号は、南シナ海で発達した台風では過去30年で最強クラスと言われており、首都ハノイ市では、1万本を超える倒木や建物の損壊や浸水、一部地区での停電などの被害があった。



一方、日本では、9月21日に元日の地震で甚大な被害を受けた能登半島を記録的大雨が襲った。24時間雨量が400ミリ超という観測史上最大の大雨によって、復興の遅れが指摘されていた地域での被害が拡大した。20ヶ所を超える河川が氾濫し、仮設住宅も床上浸水の被害を受けた。個人的にも、仮設住宅が、何故、災害を完全に避けられる場所選ばれなかったのかという疑問が残る。

いずれにしても、それぞれの被災地における早期な復興をお祈りする。

今回の「海外交流視察」では、ベトナムの経済・労働情勢や技能実習生送り出し機関の状況などについて学ぶことを目的として、現地の視察機関などが決定された。

ホーチミンでは、

○技能実習生送り出し機関視察「COCORO国際株式会社教育センター」

○企業視察「バトスター明電株式会社」

ハノイでは、

○表敬訪問「在ベトナム日本国大使館」

○関係団体訪問「JICAベトナム事務所」

○企業視察「イオンベトナム」

以上の視察をおこなってきた。

2023年度における日本の外国人労働者数は、2,048,675人(厚生労働省調べ)となっている。また、外国人労働者数を出身国別でみると、総数が多い国ではベトナム、中国、フィリピンの順となっている。

	出身国	労働者数	割合
第1位	ベトナム	518,364人	25.3%
第2位	中国(台湾含む)	397,918人	19.4%
第3位	フィリピン	226,846人	11.1%
第4位	ネパール	145,587人	7.1%
第5位	ブラジル	137,132人	6.7%

一方、ベトナムにおける海外労働者の年間派遣は、約16万規模と言われている。その内の90%程度が日本と台湾に送り出している状況にある。

	派遣総数	日本	台湾
2019年	152,530人	82,703人 (前年比20.3%増)	54,480人
2022年	142,779人	67,295人	58,598人
2023年	159,986人	80,010人 (前年比18.9%増)	58,620人

しかし、日本への送り出しも2013年から増加傾向にあったものの、2019年にはピークを迎え、現在は減少傾向になっているとのこと。

この背景には、日本以外の諸外国(欧州・豪州・韓国・インドネシアなど)で、高給与の仕事の求人、英語で仕事ができる働きやすさなどの魅力を感じる人が多かったことが要因として挙げられている。一方、日本に対して、アニメの国、日本の食・文化・自然、治安の安全などの魅力を感じるものの、

- ・待ち時間が長い(日本語習得、手続き)
- ・日本語試験が難しい(特定技能N4)、
- ・準備金がかかる(30～60万程度)
- ・得られる収入が高くない
- ・訓練が厳しい(言語、規律、体力)

などにより、日本が選ばれなくなる可能性があるとのこと。

そして、今回の視察をつうじて、「日本企業は努力をしないと人がとれない!」「いつまで続くか!親と金とベトナム人!」という言葉が印象に残っている。

日本では、現在、人手不足が大きな課題となっているが、このままの状況が続けば、諸外国から選ばれなくなる国になってしまうかもしれない。早期に、受入れ制度の構築、格差のない職場環境の構築などを真剣に進めるべきである。

2024.10.25